



園芸部

アンネのバラの栽培・管理やひまわり苗の栽培を行い「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加しています。

『ひまわりで繋がる福祉の輪』

園芸部の代表的な活動である「福島ひまわり里親プロジェクト」が5年目を迎え、ひまわり栽培を通して復興の輪が広まりつつあります。今年度は、幼稚園・保育園などの9施設に143本の苗を配付し、新たに「社会福祉法人 あやべ松寿苑」と協力して「農福連携」も始めます。
※農福連携とは、「農業」と「福祉」を繋ぐことで、生きる活力を見出し社会参画を実現していく取り組みです。



加工部

イベントでの出店やコンテストに向けて活動しています。

『学校祭での出店』

加工部は例年、学校祭でお菓子などを販売しています。今年はメロンパンを販売し、大盛況で即完売しました。これからもお客さんに喜んでもらえるようなものを製作していきたいです。



分析化学部

由良川の環境調査や由良川クリーン作戦など、由良川の保全活動に取り組んでいます。

『由良川保全活動を通したSDGsの取り組み』

分析化学部では、校舎沿いに流れる由良川の水質調査、生物調査、清掃活動を定期的に行うと共に、市民の皆さんの協力を得て「由良川クリーン大作戦」を毎年実施しています。今年度は第10回目の実施となり、340名の方に御協力いただきました。この活動を通して産学官民の連携の絆を築くことができ、交流の場にもなっています。また、「由良川レンジャー」と称して、地元小学生への環境出前授業を行っています。水生生物観察なども行い、最後には「環境戦隊由良川レンジャー」による環境劇と由良川クイズなどを行います。少しでも由良川の素晴らしさや川の大切さを伝えようと活動を行っています。



突撃！ インタビュー 1年生に聞きました！

- Q1 その学科を選んだ理由は？
- Q2 これから学びたいことは？
- Q3 学校生活はどう？
- Q4 授業ではどんなことをした？

【農業科】 種清創春君 (何北中学校出身)

A1
農業の知識・技術をしっかり身につけ、将来に活かしたいと思い志望しました。また、以前から農業に興味を持っていたので高校で学んでみたいと思ったのも理由の一つです。

A2
2年生からは作物・露地野菜専攻の学習や選択科目等、より専門的な授業が行われるので、いろいろなことに興味を持ち積極的に授業に取り組んでいきたいです。特に植物の名前や特徴についても勉強し、新たな知識を増やしたいです。



A3
同級生と仲良く過ごし、先輩方とも話したりして毎日とても楽しいです。また、普通科目から農業科目まで幅広い内容を学ぶことができ、充実しています。部活動では、男子バレーボール部に入っています。先輩や同級生と毎日楽しく練習をしています。

A4
農業の授業では、基礎的から発展的な内容まで幅広く学んでいます。1年生農業科でモチ米を栽培しており、種まきや肥料散布、田植え等の実習、また、野菜の種まきや除草、収穫などを行いました。

【園芸科】 山口穂花さん (和知中学校出身)

A1
もともと花について学びたいと考え、どこの高校か悩んでいた時に由良川キャンパスのオープンスクールに参加し、とても楽しく活動でき、私もここで学びたいと思い志望しました。

A2
野菜や草花はどのようにすれば病気にかからず元気に育つかなどを学びたいです。また、実習中に使用する様々な道具の使い方も早くマスターしたいです。



A3
普通科では学べない事が沢山学べるのでおもしろいです。少人数だからこそ先生とのコミュニケーションもとりにやすく、苦手なことも聞きやすいです。またクラスの仲も良く、楽しい学校生活を送っています。

A4
野菜に関する実習では、ナスやミズナなどの収穫、販売用に袋詰めなどをしました。草花に関する実習では、土づくりや花の鉢替え、葉ボタンの定植などをしました。

【農芸化学科】 小林佑凪さん (青葉中学校出身)

A1
食品に関する製造方法から、栄養、衛生、分析などさまざまな専門的な知識・技術を学ぶことができるからです。また、自分で製造したお菓子を販売する貴重な経験ができるからです。

A2
お菓子を作る際の工夫や注意点等の専門的な知識を学び、それを生かした技術を身に付けたいです。また、色々な種類のお菓子を作りたいです。



A3
加工部に所属し、さまざまなお菓子を作っています。優しく技術力の高い、頼りがいのある先輩方に色々教えてもらいながら活動ができて楽しいです。

A4
分析の実習では、さまざまな実験器具の使い方を学び、安全に気をつけながら実験を行っています。製造の実習では、クッキーやカステラ、団子等をつくりました。また、栽培に関する実習もあり、田植えや稲刈りを行いました。